

サイドスタンド HS-149 for タクト

商品コード	656-1010149
適合車種	タクト (AF51)
備考	

この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

■製品、装着についての注意 (必ずお読み下さい)

▲サイドスタンドの取付に当たっては特に以下の項目に注意して下さい。間違った取付や不注意な行為は重大な事故にもつながり、また保証対象外となりますので、ご注意ください。

- 組み立てミス等によるパーツ、その他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、点検作業は必ず整備士資格のある方が行って下さい。また、周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社まで、ご相談下さい。
- サイドスタンドは車種専用で設計されていますので、適合車種以外の車両には取り付けないで下さい。
- リアショック等の交換で、車高が変わった車両に装着すると、スタンドの角度が変わり、倒れる恐れがありますので、必ずノーマル状態に戻して装着して下さい。
- 取付後、サイドスタンドを前後に動かして、格納位置及び、車体を支える位置にしっかり納まるか、良く確認して下さい。
- サイドスタンドを立てたまま、車両に跨って揺らしたり、飛び跳ねたりしないで下さい。サイドスタンドのみならず、車両の破損や人身事故につながる恐れがあります。
- 荷台の荷物を積み過ぎないように注意して下さい。車両が倒れる恐れがあります。
- エンジンの振動により、ボルト、ナット類が緩む可能性があります。走行前は必ず、各部のボルト、ナット類の締め具合を確認して下さい。
- この商品、あるいはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合はこの説明書も併せてお渡し下さい。
- 走行前、取り付けたボルト、ナット類が緩んでいないか確認して下さい。緩んでいるようであれば、増し締めを行って下さい。



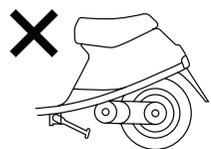
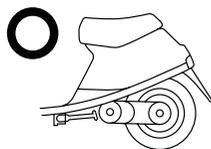
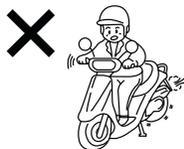
当用紙はオートバイ整備の基本的な知識を持った方を対象にしています。技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないで下さい。



説明書に記載されていない改造や、仕様変更等は絶対にしないで下さい。



お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社まで、ご連絡下さい。



サイドスタンドを立てたまま、エンジンをかけないで下さい。車両が飛び出したり、転倒する恐れがあります。また、走行する前、サイドスタンドを必ずたたんで、走行して下さい。



サイドスタンドを使用する場合、坂道や軟泥地凸凹道等で使用しないで下さい。平らで堅い路面で車体が倒れたりしないか、十分確認してから、サイドスタンドを使用して下さい。

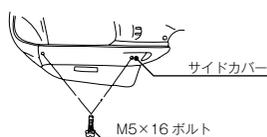
製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良があった場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う故障、破損、事故等についてのパーツ代金、整備費用の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。



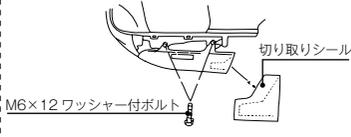
210909
〒577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740

図 1



1. 左側サイドカバーから M5×16 ボルトを外して、左側サイドカバーと取り外します。

図 2



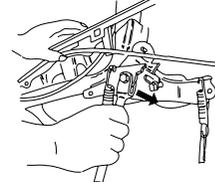
2. 左側サイドカバーから M6×12 ワッシャー付ボルトを外して、左側アンダーカバーを外し、付属の切り取りシールを貼り付けて、点線に沿って、金ノコ、もしくはカッターナイフでアンダーカバーを切り取って下さい。

図 3



3. 車体右側からフレームのナット (図の逆側) を緩めて、車体左側から M10×178 フランジボルトを 8mm 程度浮かせませう。

図 4



4. 浮かせたフランジボルトにサイドスタンド本体を図 4.5 の様に差し込みます。リアブレーキケーブルが通っていますので、ケーブルが外側にくるようにして下さい。

図 5

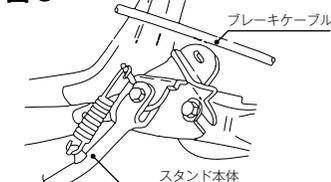
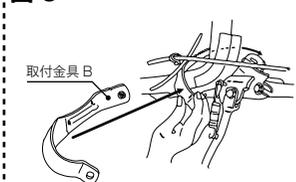
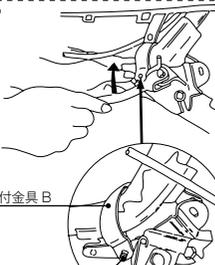


図 6



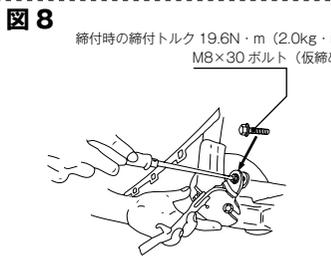
5. 図の様にフレーム裏側に付属の取付金具 B をセットします。

図 7



M8 ボルト (取付金具 B 穴にはめる)

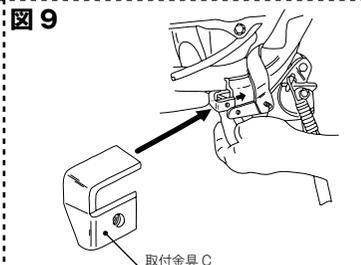
図 8



締付時の締付トルク 19.6N・m (2.0kg・m)
M8×30 ボルト (仮締め)

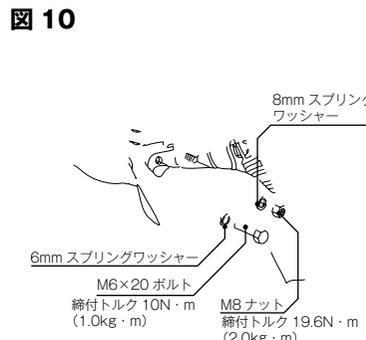
6. 図 7 の様にサイドスタンド本体を持ち上げ、M8 ボルトを取付金具 B の穴に差し込み、図 8 の様に付属の M8×30 ボルトでスタンド本体と取付金具 B を共締めし、仮締め状態にしておきます。

図 9



7. 付属の取付金具 C を図 9 の様にセットします。スタンド本体と取付金具 C の穴位置が合わさる様にセットします。

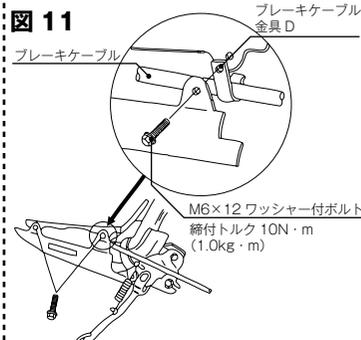
図 10



6mm スプリングワッシャー
M6×20 ボルト 締付トルク 10N・m (1.0kg・m)
M8 ナット 締付トルク 19.6N・m (2.0kg・m)

8. 項目 7 でセットした取付金具 C とスタンド本体の合わせた穴に付属の M6×20 ボルト、6mm スプリングワッシャーを。
項目 6 でセットした取付金具 B とスタンド本体のボルト部に付属の M8 ナット、8mm スプリングワッシャーをそれぞれ仮締めし、項目 6 で仮締めしている M8×30 ボルト、M6×20 ボルト、M8 ナットをそれぞれ数回に分けて、各箇所を徐々に締め込みます。
最後に項目 3 で緩めた M10×178 フランジボルト (車体左側)、M10 ナット (車体右側) を締め込みます。
サイドスタンドを装着した後、アンダーカウルを取り付けて、アンダーカウルとスタンドが干渉するようであれば、アンダーカウルの干渉する部分をさらに削って下さい。

図 11



9. 付属のブレーキケーブル金具 D を図 11 の様にアンダーカウルと共締めします。
10. 取り外したカバー類を全て元通りに取り付けて、作業終了です。

部品構成	スタンド本体 ×1	取付金具 B ×1	取付金具 C ×1
	M8×30 ボルト ×1	M8 ナット ×1	8mm スプリングワッシャー ×1
	M6×20 ボルト ×1	6mm スプリングワッシャー ×1	ブレーキケーブル金具 D ×1
	切り取りシール ×1	金ノコ ×1	